

NOZZLE GUN FOR SUPPLYING LIQUID

Publication number: JP62287899

Publication date: 1987-12-14

Inventor: TAKAGI TOSHIO

Applicant: TAKAGI TOSHIO

Classification:

- International: **B67D5/372; F16K31/24; B67D5/37; F16K31/18; (IPC1-7): B67D5/372**

- European:

Application number: JP19860132508 19860606

Priority number(s): JP19860132508 19860606

Report a data error here

Abstract not available for JP62287899

Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-287899

⑤ Int. Cl.⁴
B 67 D 5/372識別記号
庁内整理番号
7724-3E

④ 公開 昭和62年(1987)12月14日

審査請求 有 発明の数 1 (全7頁)

⑭ 発明の名称 液体供給用のノズルガン

⑰ 特 願 昭61-132508

⑱ 出 願 昭61(1986)6月6日

⑲ 発 明 者 高 城 寿 雄 北九州市小倉北区白銀1丁目3-5
⑳ 出 願 人 高 城 寿 雄 北九州市小倉北区白銀1丁目3-5
㉑ 代 理 人 弁理士 有 吉 教 晴

明 細 書

1. 発明の名称 液体供給用のノズルガン

2. 特許請求の範囲

1. 下端開口状の筒体の上側部にその筒体と連通するホース連結用筒体を有し、上記筒体内中途部には噴出孔が開孔された弁座が内设され、上記噴出孔上方には一端が上記筒体上端外へ遊嵌状に突出され、他端には上記噴出孔を自在に閉塞する弁体が配設される弁棒を内包し、かつ該弁棒の一端は上記ホース連結用筒体外周上に折曲部が枢支される弁棒引上用レバー先端と遊嵌状に連結され、更に上記弁体と筒体内の上端との間に常時はバネの付勢力によって上記噴出孔が閉塞されるバネ体を上記弁棒を巻回する如く設け、上記弁棒引上用レバーの操作によって液体供給量を自在に調整できるノズルガンに於いて、上記弁体下部に上記弁棒と同軸上に先端がテーパ状の係止部材が形成される棒体を上記噴出孔に遊嵌状に挿通される状態で設け、一方上記噴出孔が開孔される状態を維持する如く上記棒体の側方部に上記筒体内に枢支

され上記係止部材に係止するカムローラを装着したリンク部材を設け、更に該リンク部材上端と上記弁体下部に突出せしめた突出片との間にスプリング部材を介在せしめ、又上記筒体の下端開口内に上記リンク部材下端との間にリンク機構を介して液面感知用フロートを内包せしめると共に、該液面感知用フロートが最上端に位置した時に上記係止部材が上記カムローラから開放される如くとしたことを特徴とする液体供給用のノズルガン。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は液体供給用のノズルガン、更に詳しくはストープ等のカートリッジタンクへの給油を自動的に停止する器具に関するものである。

(従来の技術及びその問題点)

液体が収納された容器から他の容器に移送する場合に使用する手動式ポンプは、例えば灯油が収納される容器(18ℓプラスチック容器)からストープ等のカートリッジタンクへ灯油を給油する場合に用いられるものであり、上記カートリッジタン